

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品及び車両運搬具・・・定率法によっている

ソフトウェア・・・定額法によっている

(3) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
受贈基本財産積立資産	200,000,000	0	0	200,000,000
償却原価法による受取利息	389,863	99,360	0	489,223
合 計	200,389,863	99,360	0	200,489,223

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産 からの充当額）	（うち一般正味財産 からの充当額）	（うち負債に対応 する額）
特定資産				
受贈基本財産積立資産	200,000,000	(200,000,000)	(0)	(-)
償却原価法による受取利息	489,223	(489,223)	(0)	(-)
合 計	200,489,223	(200,389,863)	(0)	(-)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,183,329	1,183,328	1
什器備品	8,032,232	7,189,210	843,022
ソフトウェア	872,550	581,700	290,850
合 計	10,088,111	8,954,238	1,133,873

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金	熊谷市	0	10,057,176	10,057,176	0	—
補助金	深谷市	0	6,489,468	6,489,468	0	—
補助金	寄居町	0	1,453,356	1,453,356	0	—
交付金	熊谷市	0	3,029,940	3,029,940	0	—
交付金	深谷市	0	3,101,555	3,101,555	0	—
合 計		0	24,131,495	24,131,495	0	

6. 実施事業資産

公益目的支出計画に基づく実施事業資産は保有していない。